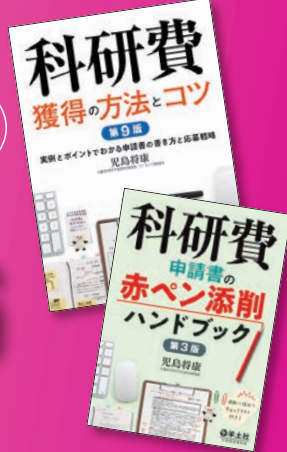


科研費獲得

ウェビナー for 2026

実例からつかむ、より良い申請書の書き方と応募戦略

ベストセラー書籍の
著者が講演！



第10回！毎年恒例の大好評ウェビナー開催！

分野を問わず「科研費採択を目指す」すべての研究者・支援者にオススメ

講演 内容

- 科研費制度の動向・変更点、採択への応募戦略
- 理系/文系の“実際の申請書”をもとにした申請書作成のコツ
→審査委員の視点もふまえて解説。「研究課題の国際性」への対応、生成AIの活用にも言及
- 疑問・悩みにも直接回答

【講演スライド】・【質疑応答をまとめたQ&A※】をご提供 ※ご提供条件あり

聴いて
すぐに役立つ！

視聴 プラン

- ①ライブ配信 2025年7月23日(水) 13:30~16:00
- ②オンデマンド配信 2025年7月29日(火) 13:00~

後で見返す時に
役立ちます

追加オプション「+24時間オンデマンド配信」

①②の視聴後、“もう1回”オンデマンド配信(24時間)を視聴

参加費

(1名あたり、税込)

- 11,000円(①・②共通)
追加オプション「+24時間オンデマンド配信」：+2,200円
- 同一機関からの団体申込※は割引あり ※オンデマンド配信のみ
【団体申込】5名以上で9,900円/名、15名以上で8,800円/名、25名以上の割引価格はお問い合わせください

大満足の“声”多数！

- ・極めて具体的な説明で、各項目に何をどこまで記載するのかが明らかになった。もっと早く知りたかった
- ・事務職員の私にも大変参考になる内容だった
- ・科研費を申請する年はいつも聴講しています

詳細は裏面へ ▶▶▶

講師

児島 将康 先生

(ジエラント株式会社代表取締役、久留米大学客員教授)

書籍「科研費獲得の方法とコツ」「科研費申請書の赤ペン添削ハンドブック」著者。毎年の科研費公募シーズン前後に20件近くの科研費セミナーで講演し、理系・文系を問わず申請書の添削指導を行っている。令和6年4月より研究者を支援するジエラント株式会社(<https://g-rant.org/>)を立ち上げ、活動している。



詳細/申込は 羊土社 科研費ウェビナー2026 から



お問い合わせ

株式会社羊土社 科研費獲得ウェビナー担当(丸山・大西)

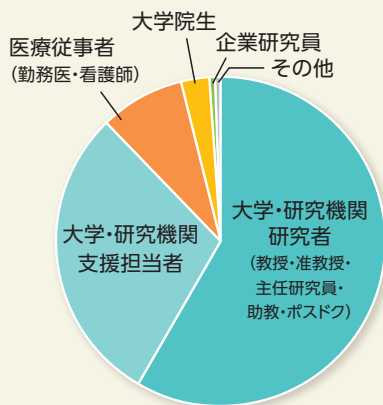
TEL: 03-5282-1211 E-mail: seminar_grant-for2026@yodosha.co.jp

2025.04

前回のウェビナー参加者の声 (2024年開催, 849名参加申込)

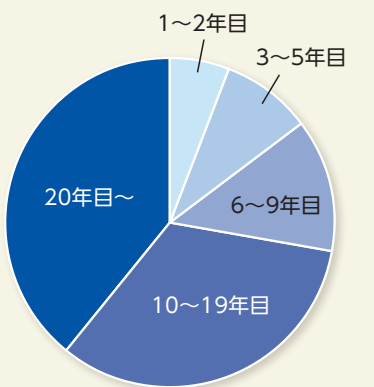
「科研費獲得ウェビナー for 2025」
聴講後アンケートより一部抜粋
対象：上記セミナーのアンケート回答者 (n=183)
時期：2024年7-9月
方法：視聴終了後にWEBサイト上で回答

職業



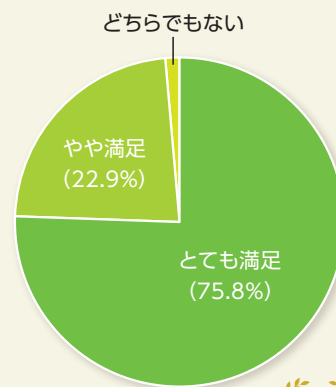
科研費の申請者からその支援担当者まで、
若手からベテランまで、広くご参加いただいております

就業年次



※2024年の個人申込
参加者情報より算出
(n=215)

講演内容の評価

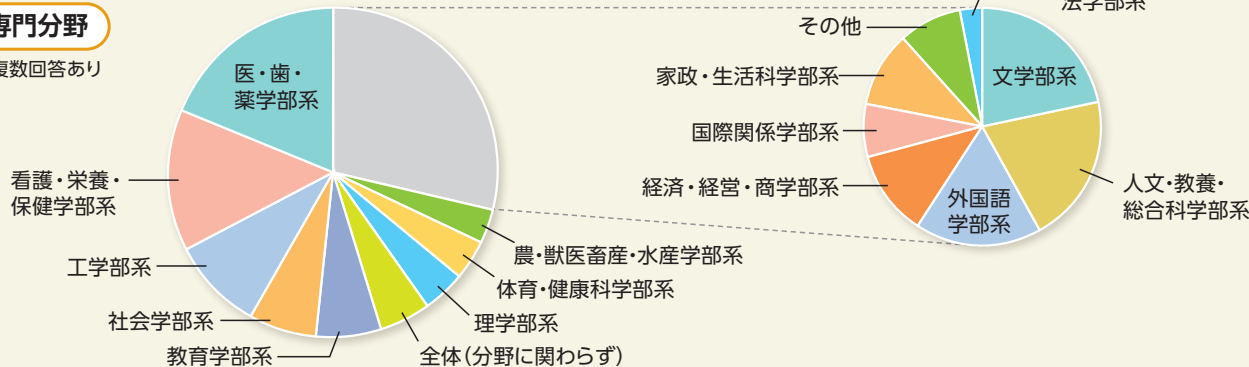


毎年高く評価
いただいております



専門分野

※複数回答あり



自然科学から人文科学・社会科学まで、専門分野は問いません！

参加者の声

- 児島先生のセミナーはいつもながら大変勉強になりました。今回からの「国際性」がとても不安でしたが、適切なご説明をありがとうございました
- 今回は事務担当者だけで聞きました。研究者にとって大変参考になる内容でしたので、次回は団体で申し込めたらと考えております
- 基本から今年の変更点まで網羅されていて、とりわけ若手研究者が参加すれば間違いなく採択につながるような内容だと感じました。オンデマンド配信で視聴しましたが、再生速度が変更でき助かりました
- 実際の申請書をもとにした実用的な内容をふんだんにご教示いただき、大変参考になりました
- 様々な「あまり良くない例」が示されていて書き方の指針が得られた。特に文系のあまり良くない例が示されている

ので参考になった

- 科研費の知識がなかった者ですが、具体例を挙げていただき非常にわかりやすくご説明されていたので今後の支援業務に役立てられそうです
- 最新情報だったので助かりました。分かりやすい説明なので先生方への回答も何とかなりそうです
- 支援担当として大変参考になりました。今後の業務遂行の知識として活用させていただきます
- 昨年度不採択だったため受講しました。セミナーで説明されていた改善ポイントが自分の申請書の不十分な部分に当てはまり、今年度の申請に向けた準備に大いに役立ちました
- 申請する年はいつも聴講しております。今回もとても勉強になりました。変更点を自分で調べて解釈することは難しいため教えていただけてよかったです